

SYUN

—旬—

Sansuiso & Yumori Up-to-the-minute News

第1号

▶ 企画・編集・発行

SYUN 編集部 (株式会社 山水荘事務所内)

▶ 発行日時 令和3年2月15日

(毎月15日・30日発行)

「山水荘」と「YUMORI」オリジナル通信始めました！

初めまして！私たちは、福島県の吾妻山の山懐にある土湯温泉町で、旅館「風望天流太子の湯 山水荘」と温泉ホテル「YUMORI(ユモリ)ONSEN HOSTEL」を営んでおります。「土湯温泉をもっと多くの方に知って欲しい！多くの方に訪れて欲しい！そのためには、私たちが情報発信をしなくてはならない！！」という思いから、オリジナル通信を発行することとなりました。

タイトルの「SYUN(シュン)」は、季節の「旬」と「Sansuiso=山水荘」、「Yumori=ユモリ」、「Up-to-the-minute=最新の」と「News=情報」の頭文字「SYUN」を掛け合わせて名づけました。これから毎月2回、皆さまに最新の旬な情報をお届けいたします！！

「風望天流太子の湯 山水荘」についてご紹介！

旅館「山水荘」は創業68年を誇る老舗旅館です。荒川の2段の滝を眺める展望大浴場や野湯、太子(タイシ)の湯、5か所の貸切風呂などを持つ湯づくりの宿です。客室は「花鳥苑」、「本館」と「和洋室」とお客様のシーンにあったお部屋をご用意しております。老舗の格式を感じる和の趣と四季折々の情緒をご堪能ください。お食事では豊かな自然に恵まれた福島ならではの地場産の新鮮な食材をふんだんに使った四季折々の味をご堪能頂けます。

コロナウイルスにより厳しい状況が続いておりますが、3密対策やアルコール消毒等の衛生管理、また従業員の体調管理等を徹底して感染拡大の防止に努めておりますので、安心してご利用頂けたらと思います。

昨年からは「修学旅行」のご予約が増えております。2011年の東日本大震災以降、当館としては約10年振りの修学旅行のお客様です。まだまだ不慣れな部分もありますが、学生みな様の大切な思い出作りのお手伝いが出来ると幸いです。最近はコロナウイルスでの外出自粛が続いており、気軽に旅行にお出かけになるのは厳しいかと思っております。

当館では「日帰りの新しいスタイルのプラン」や自宅で旅館の味を楽しめる「オンラインストア」も開設しております。ぜひ、ご自宅でもお楽しみ頂けたらと思います。

皆さま、初めまして！女将の渡邊いづみと申します。自然と温泉、美味しい天然水に恵まれた土湯温泉で、とにかく美しい思い出が作れます。充実した時間を満喫し、温泉と水、美味しい料理で免疫力UPしませんか？心よりお待ちしております！

女将 渡邊 いづみ



「YUMORI ONSEN HOSTEL」についてご紹介！

山水荘が新しい試みとして「温泉イノベーション・新湯治」をテーマに、新しいスタイルの温泉ホテルを創設しました。YUMORIでは素泊まりで安く温泉を楽しんで頂くために、お客様が自由に持ち込みでき、2階部分にあるシェアキッチンで食材を用いて調理もできるラウンジスペースがあります。

また館内には、「YUMORIカフェ」を併設しております。のんびり読書やリモートワーク、ワークショップなどそれぞれが自由に楽しみ、自由に交流することができます。YUMORIカフェでは米糍(コメコウジ)を使ったサンドやライス、美糍(ビコウジ)ドリンクなど免疫力や美容、アンチエイジングにもおすすめのメニューをご用意しております。

“古き良き温泉文化も残しながら、国境や文化、言葉を超えて多くの旅行者の方々に土湯温泉の魅力や地元の

人たちとの交流、自然や温泉の良さを伝えたい“そういう思いでお客様をお迎えしております。

旅館とはまた違った新しいスタイルの素泊まりの宿を楽しんで頂ければと思います。

初めまして！マネージャーの渡邊萌です。YUMORIカフェでは、生きた糍を使い、手作りにこだわったドリンク、サンドやライスなどを取り揃えております！ぜひ体の中も綺麗に健康に、そして温泉で疲れた体を癒してください♡

マネージャー 渡邊 萌 (モエ)



土湯温泉の歴史

土湯温泉の開湯には諸説あります。一説には神話の昔、大穴貴命(オオナムチノミコト)※が陸奥国(ムツクニ)視察の際、当地を訪れ荒川の畔を鉾(ホコ)で突くと不思議と霊泉が滾々(コンコン)と湧き出たと伝えられています。

鉾で突いて湧き出た温泉だった事から「突き湯」と呼ばれるようになり何時しか「土湯」という地名になったとされます。他の一説には用明天皇(西暦587年)、聖徳太子によって父である用明天皇の回復祈願と仏教布教のため秦河勝(ハタカワカツ)が遣わされましたが、半身不随の病におかされ、志半ばにして重病となり寝込んでいると、夢枕に聖徳太子が現れ、『信夫郡土湯というところには霊泉があり、湯浴びをすれば平癒(ヘイユ)する。』とのお告げを受けました。秦河勝は重病を押し荒川の畔(ホト)土川まで辿り着くと、聖徳太子に告げられた通り霊泉を見つけたし湯浴びをすると数日のうちに体も軽くなったと伝えられています。

※大国主命の別名とされる



4月福島のお花見スポット



No.1 「花見山公園」 土湯温泉から約19km(約40分)

毎年20万人を超える来場者が訪れる、福島県を代表する花の名所「花見山」。ウメ、トウカイザクラ、ヒガンザクラ、ソメイヨシノ、レンギョウ、モクレン、ボケ、ハナモモなど約70種類もの花々が咲き乱れ、その美しさを、日本を代表する写真家、故・秋山庄太郎氏は『福島に桃源郷あり』と表現し、毎年訪れたと言います。

花見山は、大正15年、養蜂農家が副業として花を栽培し始めたところからはじまり、昭和11年、阿部伊勢次郎氏の「雑木山を花の山にしよう。」という思いから15年ほど植え続けながら形作られました。そして多くの方々から花を見せてほしいという要望があり、「こんなにきれいに咲いた花を自分達だけで楽しむのはもったいない。見たいと言って下さる方と一緒に楽しむのも良いのではないか」という思いから、昭和34年に「花見山公園」として開放されました。「自分達だけでなく、みんなと楽しみたい」そんな阿部氏の思いが、美しい花の山を作り、今なお人々の心を魅了し続けているのでしょう。

No.2 「慈徳寺の種まき桜」 土湯温泉から約8km(約15分)

福島市佐原地区にある「慈徳寺」。そこには、福島市天然記念物に指定されている、樹齢450年のしだれ桜が見事に咲いている。桜が開花すると苗代に種をまいたので「種まき桜」と呼ばれている。



♪わたし達、働くスタッフをご紹介♪

山水荘スタッフ①

営業企画部(勤続20年)

小野塚 正樹

(おのつか まさき)



Q.仕事内容は?

A.予約、営業です。最近では残念ながら営業に出られない日々ですが、時代の流れで、テレワークならメールと電話でセールスをさせていただいております。営業と受け入れで心がけていることは、『お客様の一步前を』。気が利く営業を目指しております。

Q.仕事やりがいを感じる時は?

A.お客様の受入をして、何事もなくチェックアウトの際に、「ありがとう」と言われるとき。

今は、外出自粛ですが、**明けない夜はありません!** お客様に安心安全に、ご宿泊いただけるよう頑張ります!!

YUMORIスタッフ①

業務全般担当(勤続2年)

渡辺 一人

(わたなべ かずと)



Q.仕事内容は?

A.予約、フロント、客室・施設の清掃など業務全般。お客様の視点でものごとを見るように心がけております。温泉、食べ物、お部屋、お酒や観光地など、自分自身が体験し五感で感じたものをお客様に伝えていきたいです。

Q.仕事やりがいを感じる時は?

A.チェックイン対応やお客様との会話でのお客様とのコミュニケーション。自分の趣味を活かし、登山やスノーボードなどのサービスや情報提供ができるのも嬉しいです。

旅行の際は感染症対策など注意し楽しんでいただければと思います。**世界中のお客様が気兼ねなく旅行できる時代がくることを願っております!**

お問合せ

■風望天流太子の湯 山水荘

〒960-2157 福島市土湯温泉町字油畑55番地 / ☎024-595-2141 / ✉sansuiso@cocoa.ocn.ne.jp

■YUMORI ONSEN HOSTEL

〒960-2157 福島県福島市土湯温泉町堂ノ上7-1 / ☎024-595-2170 / ✉info@yumori-hostel.jp

■キャラクター:きぼっこちゃん(©2013 土湯温泉 きぼっこちゃん 許諾第101号)・ゆパッチー

■次号発行日:

2月28日(日)